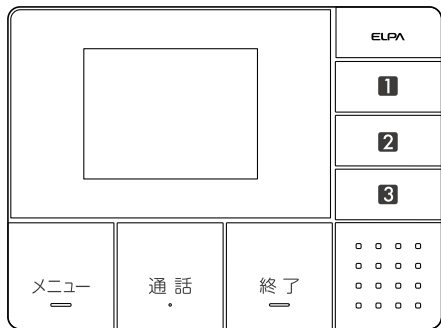


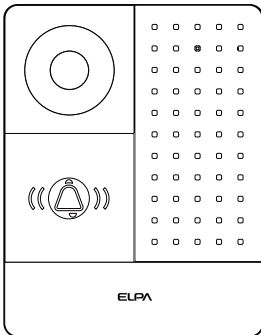
設置説明書

ELPA DHS-TMP2320

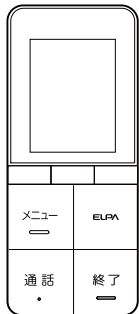
DECT ワイヤレステレビドアホン



モニター親機
(DHS-B30M)



玄関カメラ子機
(DHS-C22)



ポータブル
モニター子機
(DHS-A20P)

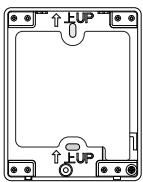
■本書をよくお読みのうえ、正しく設置してください。

特に「安全上のご注意」は、設置前に必ずお読みください。正しく設置されなかった場合などの製品の故障および事故について当社はその責任を負いかねますので予めご了承ください。

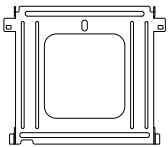
■AC100V電源配線工事には、電気工事士の資格が必要です。

SG150626A

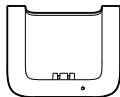
付属品



取付枠 ×1 個
(玄関カメラ子機用)



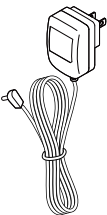
取付金具 ×1 個
(モニター親機用)
※本体に装着されています



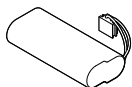
充電台 ×1 個
(DHS-J1)



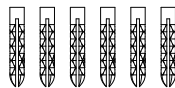
カメラ用
フロントパネル ×1 枚



充電用
AC アダプター ×1 個
(コード長：約 1.8m)



壁掛用木ネジ ×6 本
(4mm×25mm)



壁掛用アンカー ×6 本
(6mm×30mm)
※必要に応じて使用

取扱説明書 ×1 冊

設置説明書 ×1 部
(本書)

電池パック ×1 個

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■次の図記号は表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次のように区分し、説明しています。

■次の図記号はお守りいただく内容の種類を次のように区分し、説明しています。

警告 人が死亡したり重傷を負うおそれがある内容を示しています。	注意 人が傷害を負う、または物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。
してはいけない 「禁止」内容です。	必ず実行して頂く 「強制」内容です。

警告

分解・修理・改造しない
火災や感電の原因となります。修理は販売店へご相談ください。

本セットはAC100V以外の電源電圧で使用しない
発熱による火災の原因となります。

チャイム線など既設の配線を利用する場合はAC100Vなどが通電されていないことを確認する
機器の破損、感電の原因となります。

電源(AC100V)を入れたまま配線工事をしない
感電、故障の原因となります。

電源プラグは根元まで差し込む
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

モニター親機、ポータブルモニター子機は水や薬品のかかる場所、湿気やほこりの多いところに設置しない
火災・感電の原因になります。

たこ足配線などでコンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない
発熱による火災の原因になります。

注意

落下しないようにしっかり取り付ける
落下により、破損やけがの原因になることがあります。

本機のご使用の際には、「取扱説明書」に記載の「安全上のご注意」もあわせてご確認ください。

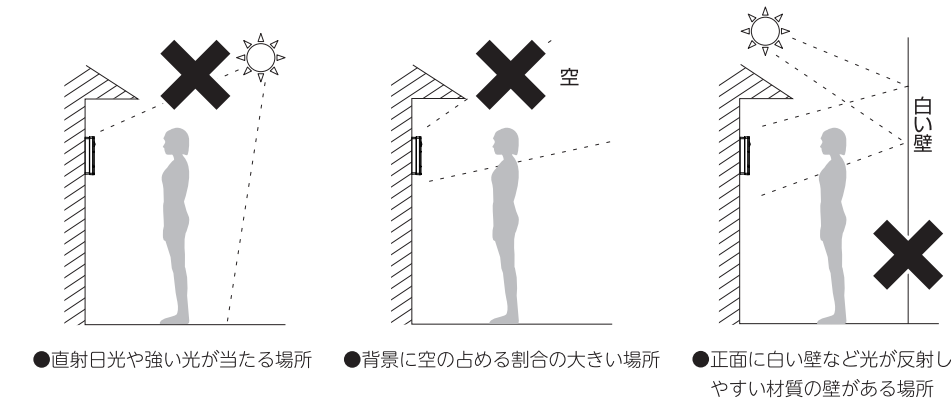
設置上のお願い

玄関カメラ子機

玄関カメラ子機は次のような場所には設置しないでください。

- 不安定な場所や、振動、衝撃のあるところ(故障や通話不良の原因)
- 鉄粉、ほこり、酸、アンモニア、硫黄、硫化水素、有毒ガスなどの発生するところ(故障の原因)
- 背面に水などが直接かかる場所(故障の原因)
- 反響の多いところ(通話不良の原因)

逆光になるところでは来訪者の顔が暗く写り、識別しにくくなることがあります。次のような場所への設置は避けてください。



モニター親機・ポータブルモニター子機

モニター親機・ポータブルモニター子機は次のような場所には設置しないでください。

- 火気・調理器具の近く(変形や故障の原因)
- 直射日光があたる場所・冷暖房機の正面・冷凍倉庫内(誤動作・変形・故障の原因)
- 温度変化が激しいところ(結露による誤動作の原因)

モニター親機・ポータブルモニター子機の設置について

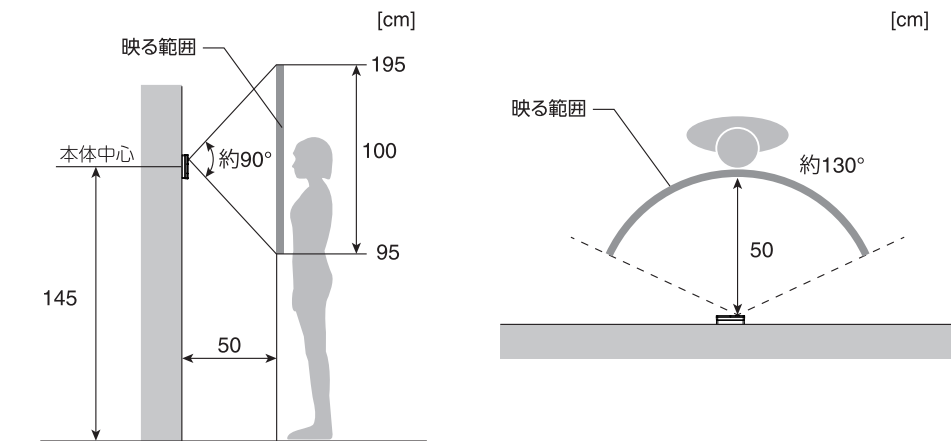
- 本体を埋め込まないでください。(モニター親機)
- ハウリング防止のため、それぞれの親機・子機から5m以上離して設置してください。
- 放熱穴をふさぐことのないように、上下左右に十分なスペース(5cm程度)を確保して下さい。(モニター親機)

※本機は1.9GHzの周波数帯の電波を利用しています。
電波については、取扱説明書(P.9)もよくお読みください。

玄関カメラ子機の取付位置(高さ)について

次の図を参考にして取り付けをおこなってください。

●標準位置(本体中心までの高さが約145cm)に設置する場合



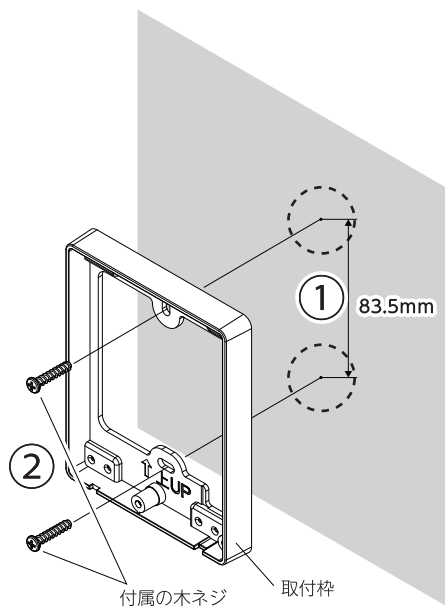
※映る範囲の大きさは玄関カメラ子機から約50cm離れた場合の目安の数値です。

取付方法 **ご注意** 設置する前に「通話」で電波の状況(音が途切れたり、映像が乱れないか)が問題ないことを確認して設置場所を決めてください。

玄関カメラ子機

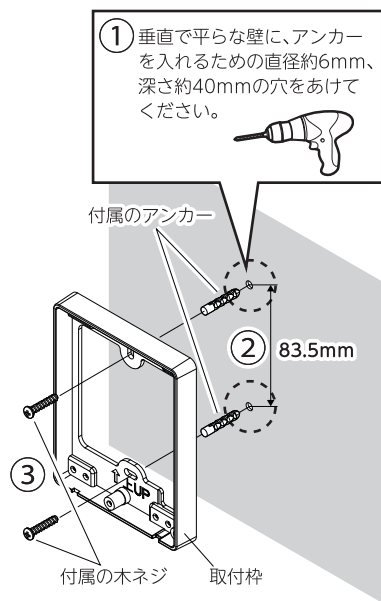
1 取付枠を壁に固定する

- ①取付け位置を決める
- ②付属の木ネジで取付枠を固定する



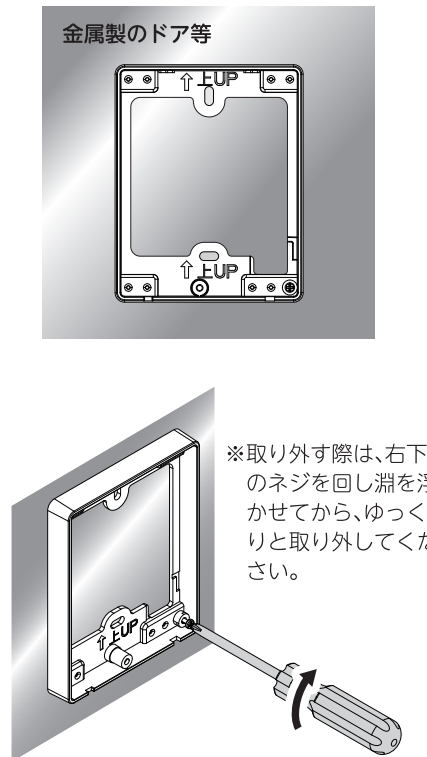
※アンカーを使用する場合

- ①壁に穴をあける
- ②穴にアンカーを入れる
- ③付属の木ネジで取付枠を固定する



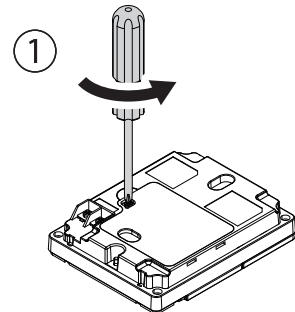
※マグネットで取り付ける場合

マグネットが強力なため、設置面との距離が短くなると急に貼り付きます。また取り付け後に無理に動かすと、設置面にキズが付く場合がありますのでご注意ください。

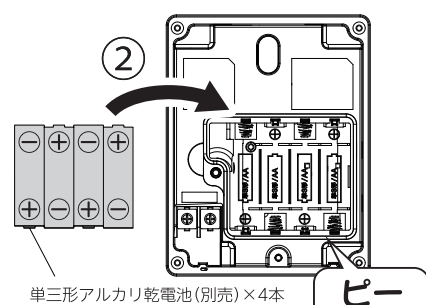


2 電池を入れる

- ①電池蓋のネジを緩め、蓋をあける



- ②新品の単三形アルカリ乾電池(別売)を入れる
※指定の乾電池以外は使用しないでください。

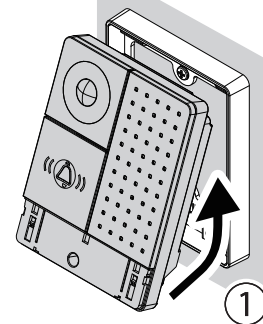


- ③「ピー」と音が鳴り起動する
※音が鳴らない場合は、呼出ボタンを押しながら電池を入れてみてください。

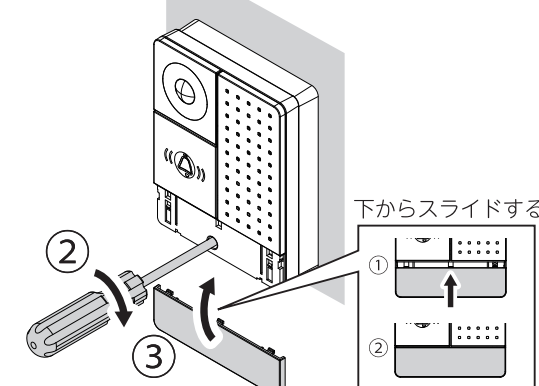
- ④電池蓋をしめる

3 本体を取り付ける

- ①本体を取付枠にはめ込む
※確実にハマっているか確認してください。



- ②本体をネジで固定する

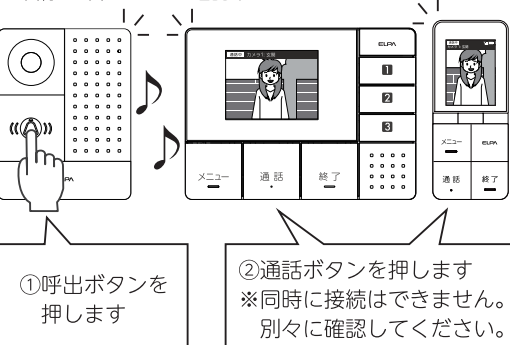


- ③フロントパネルを取り付ける

玄関カメラ子機&モニター親機 &ポータブルモニター子機

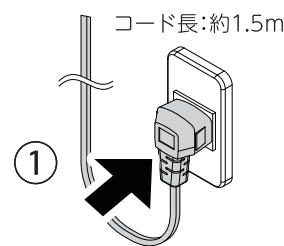
5 正しく動作するか確認する

玄関カメラ子機の呼出ボタンを押し、モニター親機、ポータブルモニター子機それぞれで呼出音が鳴り、映像が映ることを確認する



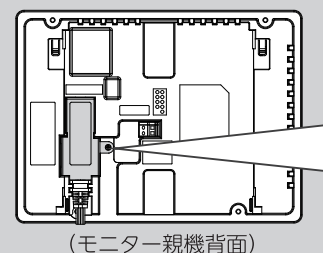
4 電源プラグを差し込む

- ①電源プラグを根元まで完全に差し込む



- ②モニター親機の電源が入り、「日時設定」の画面が表示される
※「日時設定」は取扱説明書(P.22)をご参照ください。

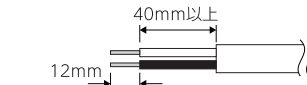
AC100V電源線を直結する場合のみ (電気工士の資格がない方は、絶対に作業しないでください。)



- ①カバーを取り外す

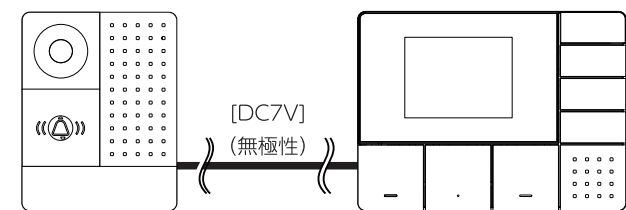
- ②ドライバーの先などでボタンを押しながら、電源コードを取り外す

- ③AC100V電源線を接続する



- ④カバーを取り付ける

既設の配線を使用する場合

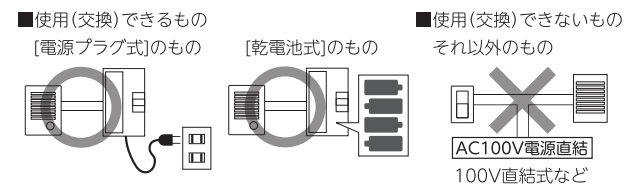


既設の配線を使用して玄関カメラ子機とモニター親機を接続することで乾電池を使用せずに、玄関カメラ子機に電源を供給することができます。

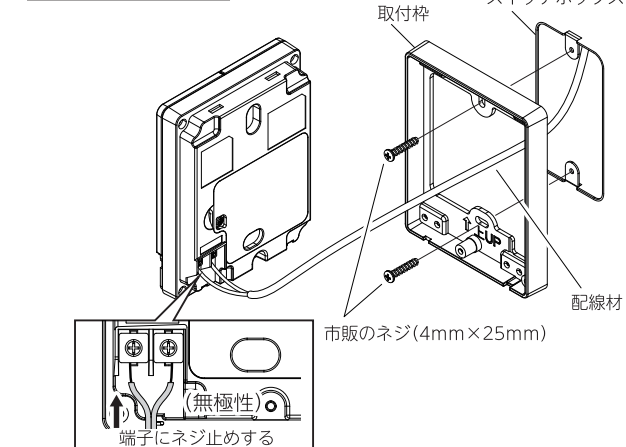
※電源を供給する場合には乾電池は使用しないでください。

※電源線(AC100Vなど)は絶対に接続しないでください。

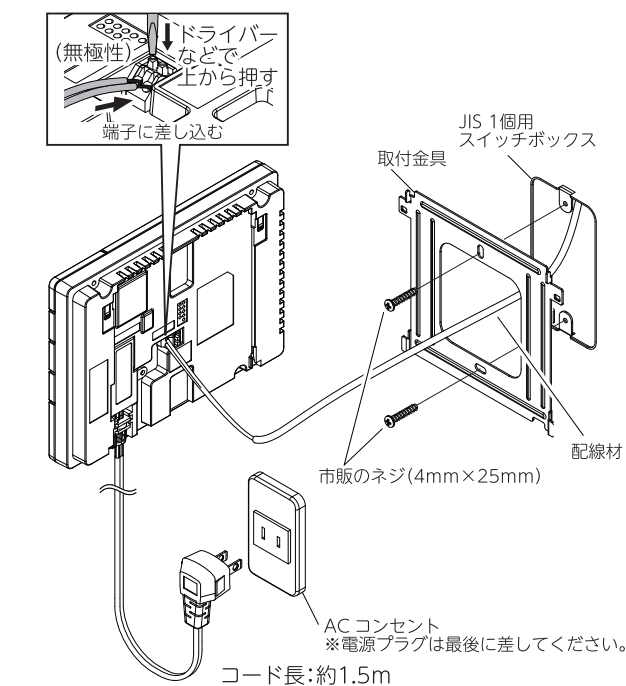
※他社の製品と接続しないでください。



玄関カメラ子機

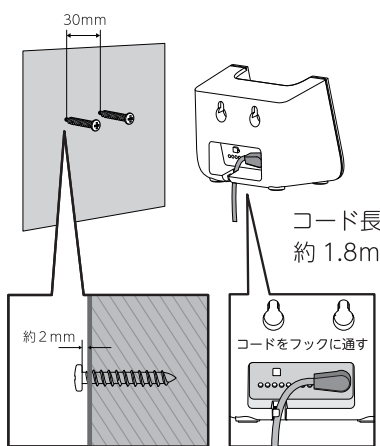


モニター親機



充電台

充電台は置いて使用する他に、壁や柱に取り付けて使用することができます。



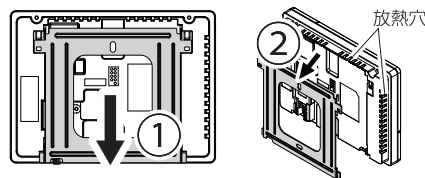
- ネジを本体の取付穴にはめて、下に押し下げしっかりと固定する
※コンクリートなどの木ネジが直接使用できない場所には付属のアンカーを使用してください。

※ご使用前に取扱説明書(P.15)に従って充電してからご使用ください。

モニター親機

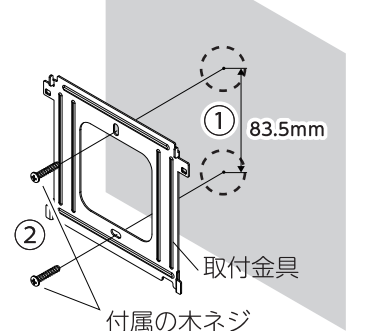
1 取付金具を外す

- ①取付金具を下にずらす
- ②取付金具を本体から取り外す



2 取付金具を壁に取り付ける

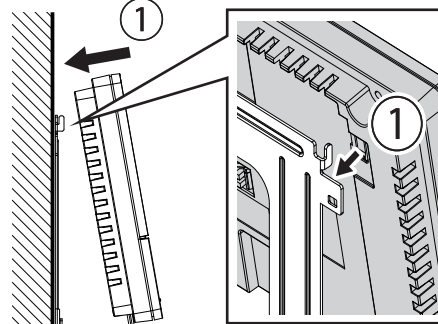
- ①取付け位置を決める
- ②付属の木ネジで取付金具を固定する



※石膏ボードなどのネジが抜けやすい壁に取り付ける場合は、市販の石膏ボード用アンカーをご使用ください。

3 本体を取り付ける

- ①取付金具の上のツメを本体の溝に合わせる



- ②本体を壁と水平にして下のツメを合わせ、本体を押し下げて固定する

